

4/4毎日

7割 接種見通せず

47市区調査 65歳未満ワクチン

新型コロナウイルスワクチンを巡り、都道府県庁がある47市区の7割(35市区)が、65歳未満の接種の開始時期について見通しが立っていないことが3日、共同

出ると懸念を示した。接種事業に際し8割の市区は、依然としてワクチンがいつどれだけ供給されるか不安だとしている。

ワクチン供給で政府は、6月末までに3600万人の65歳以上の高齢者分を上回り、65歳未満の一部も賄える量を確保すると発表。これに対しても、自治体側に

は、実際の供給量を見極め計画を立てようとする姿が浮かび上がった。

住民接種では、優先対象者となる高齢者の接種が4月12日から始まる。これに続くのが65歳未満の人。うち基礎疾患のある人らが優先される。健常な人はさうに後となる。

調査は3月25日~4月1日、47都道府県庁所在地(東京は都庁のある新宿)の市区を行った。

65歳未満の接種開始時期の設問では、12市が早かった。2市は「見通せない」とした。2市は無回答だった。